

関係各位

2026年6月  
MGC バイオバンク部  
服部 功太郎

### バイオバンク検体回収運用変更のお知らせ

平素より NCNP バイオバンクをご活用いただき、心より御礼申し上げます。これまで当バイオバンクでは、検体が発生する都度回収を行ってまいりましたが、2026年5月21日より、順次「定時回収」へ移行させていただきました。

本変更は、持続可能な運用体制の構築を目的としたものであり、他の NC バイオバンク（NCC、NCGG 等）においても同様の運用が行われていることに加え、当バイオバンクで実施した検証（髄液・血漿の網羅的タンパク質解析）において、少なくとも約2時間以内であれば検体品質への大きな影響が認められなかったことを踏まえております。次のページに、CSF、血漿の処理時間遅延による影響について、参考資料を添付いたしましたので、ご参照ください。

今後も、検体品質の維持と現場の運用の両立を大切にしながら、より安定した体制づくりに努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## <参考資料>

### CSF、血漿の処理時間遅延による影響

#### 1. 方法

##### CSF

採取後、以下条件で静置後に処理

- 温度：4°C / 25°C
- 時間：0, 2, 4, 24 時間

##### 血漿

採取後、遠心分離前に以下条件で静置

- 4°C：0.5, 2, 24, 72 時間
- 25°C：0.5, 2, 24 時間

※太字アンダーラインの時間・温度をベースラインとして解析

#### プロテオーム解析

各試料について、SomaScan v.4.1 (SomaLogic 社) を用いてプロテオーム解析を実施した。分子解析の精度は、CV 4.8% (CSF) 及び 3.5% (血漿) であった。

#### 2. 結果

##### CSF

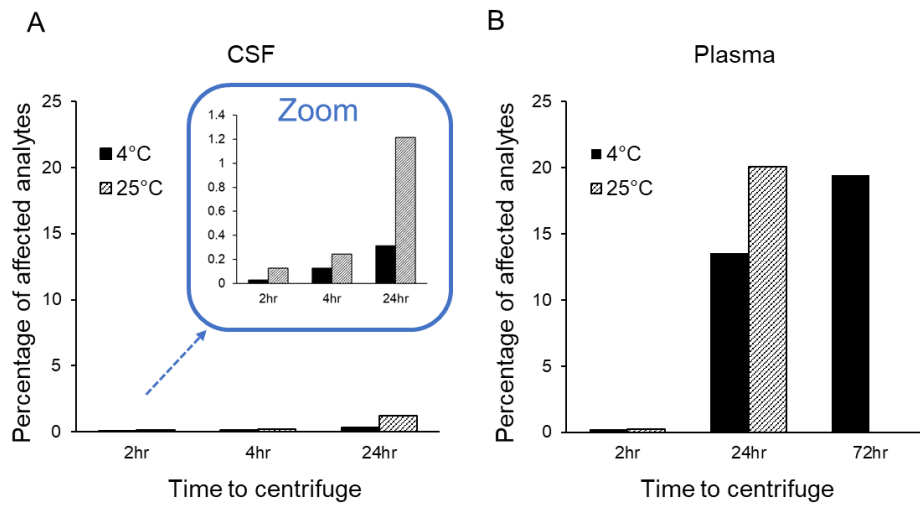
処理前保存による変動 (7001 分子中変動分子数、括弧内は大きな変動)

条件	2 時間	4 時間	24 時間
4°C	2 (0)	9 (4)	22 (4)
25°C	9 (3)	17 (8)	85 (26)

##### 血漿

処理前保存による変動 (7044 分子中変動分子数、括弧内は大きな変動)

条件	2 時間	24 時間	72 時間
4°C	16 (7)	953 (465)	1367 (813)
25°C	17 (2)	1415 (969)	—



Tatsumi et al., Clinical Proteomics (in press).

図 処理遅延により影響を受けた分子の割合

### 3. まとめ

- CSF・血漿ともに、長時間（特に 24 時間以上）で顕著なプロテオーム変動が発生
- 2 時間時点では変動分子数は限定的
- 温度上昇（25°C）により変動は増加傾向